

政務調査報告書

報告者：(志政会)原雄一郎

全体概要

○講座：「オンライン議会最前線実績と可能性」

○主催：ローカル・マニフェスト推進連盟

○場所：オンライン

○日程：令和4年1月31日(月)14時00分～16時30分

○内容：

基調提起 「DXとデモテックで地方から・議会から変えていけ」 ████████氏

「討論の広場と議事機関としての議会とオンライン」 ████████氏

実践報告 「デモテック前進！デジタルとオンラインで議会がかわる」取手市議会

「コロナと非常事態に備える！オンライン本議会実現へのミッションロードマップ」大津市議会

「もっと市民に聞いていく！議会DXの推進でチャンスロスをなくせ！」知立市議会

- ・コロナ禍とはいえ対策としてオンラインというツールがあるのに、「専決処分」で執行部に任せるのは二元代表制を放棄した行為。
- ・議会の本気の危機管理能力が今問われている。希望的観測によった将来見通しで行動していないか？、技術的な制約や不慣れのデメリットは議会が開けないデメリットよりも圧倒的に小さい。
- ・社会の多くでDX化が進むなかで、議会だけが進められない理由にならない。
- ・この新型コロナが最後の感染症や災害はない。今後、新しい感染症が流行することを大きな危機感と捉え、コロナが落ち着いた今だからこそ、オンライン化を進めるべき。
- ・総務省の所管では、「委員会まではオンラインで開催が可能」。
- ・(知立市議会)議会DX化推進PTを発足させた。その中にはITに精通した議員だけでなく、不慣れな議員も参加して貰い、両方の意見を取り入れた。また不慣れな議員への対応として、開始しばらくはITと髪とを両方しようとした。
- ・(知立市議会)当初は、事務局の負担も大きかったが、操作に慣れてくる議員が多くなると、その負担も小さくなり、また資料配布や会議室の机の並べ替えの手間などを考えると、以前よりも全体の負担は減った。

○受講しての所感

- ・他市では、DX(オンライン)を推進する目的が「議会開催の担保」と設定。このコロナ禍のなかで如何に議会を成立させるかについて危機感を持って検討した結果、DX化が進んだ様子だった。
- ・唐津市においてはDXを進めるための論点として、「便利」「時代のながれ」「経費削減」というワードが多く出るが、他市の事例にならい「議会開催の担保」という点に着目して進めるべきと考える